ずっと親子

　微熱が続き病院へ行くと思いがけず父さんと出会ったね。定期検診だとのこと。思えばどのくらい話をしていなかっただろうね。婿養子となった長男の私をどんな思いで見ていたのか。後悔に似た重い感情が胸を圧したよ。

　診断は軽い腎盂炎だったよ。待合室に戻ると、父さんはうつむいて座っていたね。待ってたのと尋ねると「まあな」と笑ったね。胸の中にさっきの感情が蘇ったよ。ことさら素っ気ない口調を繕い、先に帰ってと告げたんだ。

　父さんを怖いだけの人と思ってたよ。でもそんな優しさを見せるなんて。無数の思いが束になって胸を締め付けたんだ。流れ落ちる涙をどうすることもできなかったよ。帰宅したら父さんに電話しようと決心したんだ。父さんが大好きな蕎麦を食べに行こうと誘ってみようと思うんだ。今なら向き合える気がするんだ。そしてそれは、ふてぶてしかった私自身を償う最後のチャンスだと思うんだよ。

（佐賀県47歳）吉村金一